

インテックの取組みのご紹介



株式会社インテック
代表取締役社長 金岡克己

2012年4月5日



IT in all
Based on IT

株式会社 インテック

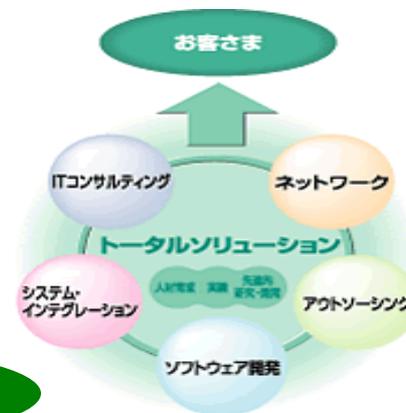
■ 商号の由来



INTEC の社名はつぎのような意味を含めてつけられました。

- INFORMATION TECHNOLOGY (情報技術)
増大するデータから価値ある情報を創造し提供する技術
- INTERNATIONAL TELE-COMMUNICATION (国際情報通信)
ナショナルからインターナショナルへグローバルな情報通信技術
- INTEGRATED TECHNOLOGY (システム技術)
未来を予見する情報技術をベースとし、各種各様な科学・工学を包括する技術などの略称であり、またそうしたすべての分野に意欲的に取り組む集団として
- INTELLECTUAL ECHELON (創造的知的集団) を象徴するものであります。

<社名には、INTERLINK7Cの意味も込められています>



概要

本社所在地	富山県富山市(本社) 東京都江東区(東京本社)
設立日	1964年1月11日
資本金	208億30百万円(2011年4月1日現在)
売上高	894億06百万円(2011年3月期)
経常利益	29億63百万円(2011年3月期)
従業員数	3,798名(2011年7月1日現在)
代表取締役社長	金岡 克己

特長

ITのトータルカンパニー
(コンサルから運用・保守までのワンストップサービス)

安心のアウトソーシング
(豊富なデータセンター、ネットワーク運用実績)

完全マルチベンダー
(独立系企業の強みを生かした自由度の高いサービス)

先用後利の精神
(コンピュータ・ユーティリティの実現)

質実剛健
(インテックは逃げません)

広域データセンター基盤とクラウドサービス



INTEC

ITソリューション

セキュリティソリューション

セキュリティ監視 *EINS/MSS+* 

セキュリティ診断 *EINS/SVA+* 

電子証明書 *EINS/PKI+* 

ID管理ソリューション 結人・東人 

スマートフォン遠隔制御 Smart-let 

統合ログ管理ソリューション

快速サーチャー LogRevi 

オフィスソリューション

シンクライアントDCソリューション

クラウドソリューション

クラウドストレージ EXAGE 

ビジネスクラウド 基盤

高品質なビジネスクラウド

EINS/SPS 

セキュリティプラットフォーム

EINS/EC Farm

広域DR/BCPプラットフォーム

VDC (Virtual Data Center)

統合運用管理プラットフォーム

GEO (監視機能)

データセンター



インテックのDCネットワーク

インテックでは、全国に展開している堅牢で信頼性の高いデータセンター(①災害に強い建物、②万全の電源・空調設備、③高度なセキュリティ対策)により、緊急時に企業活動を完全停止にしないための情報システムの安定的な稼働環境(DR環境の構築/DCの移転・分散/システムのクラウド化)の提供を行っています。



■データセンターの紹介（万葉スクエア）



富山県高岡市に位置し、北陸地域および全国のお客さまへデータセンターサービスを提供します。また、ニアショア開発の拠点として機能します。（2010年7月20日竣工）

【コンセプト】

1. 堅牢で信頼性の高いデータセンター
 - ①災害に強い建物
基礎免震構造の採用 他
 - ②万全の電源・空調設備
2系統受電、無停電電源装置、非常用自家発電装置、冗長化構成 他
 - ③高度なセキュリティ対策
2. 環境に配慮したオフィスビル
省エネ機器、屋上緑化、太陽光発電 他
3. 景観に調和したオフィスビル
地域伝統を感じさせる景観、地場産業の活用他



【ビル概要】

規模：地上6階建
構造：鉄骨造一部鉄骨鉄筋
コンクリート造

全体基礎免震

敷地面積：3,754㎡
延床面積：8,280㎡（DC:1,000㎡）

<屋上緑化>



<免震装置>



<セキュリティゲート>



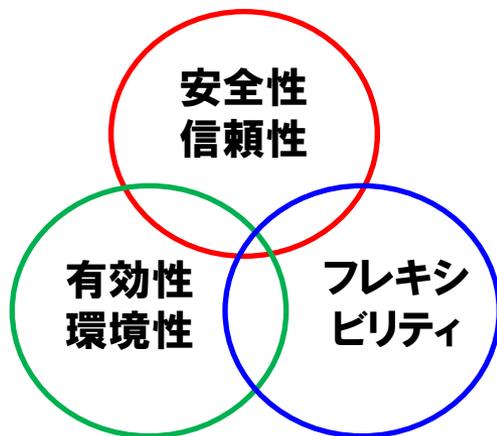
■データセンターの紹介(パワー・アンド・IT)



富山市に位置し、**データセンター専用ビル**として北陸地域および全国のお客さまへサービスを提供します。(北陸電力とインテックが共同で設立)

(2011年6月3日竣工)

【基本コンセプト】



基礎免震構造、万全の電源空調設備、セキュリティ対策、省エネ方式・機器導入 他

◆Tierレベル：TierIII相当

◆グリーン指標(PUE値)：1.5以下(最終)

PUE: Power Usage Effectiveness: DCの電力消費効率

【ビル概要】

規模：地上4階建

構造：鉄骨コンクリート造

基礎免震構造

敷地面積：約6,000㎡

総床面積：約6,300㎡北陸最大級



<外観>

(免震装置)

※写真はイメージです



積層ゴム支承



弾性すべり支承



直動ころがり支承



オイルダンパー



鉛ダンパー

インテックの2020年ビジョン



「産業と社会システムの高次化に資するユビキタスICTカンパニー」

(ユビキタス:コンピュータの存在を意識せずに、その機能を利用できる環境)

■2020年の社会とICT

あらゆる業界が情報通信技術を利用したアプリケーションシステムを必要とし、産業、医療、教育、文化など多くの分野において、情報通信技術を「あたりまえ」に使う時代になる。

産業と社会システムは、ITを積極的に活用することで高次化されていく。

産業の高次化

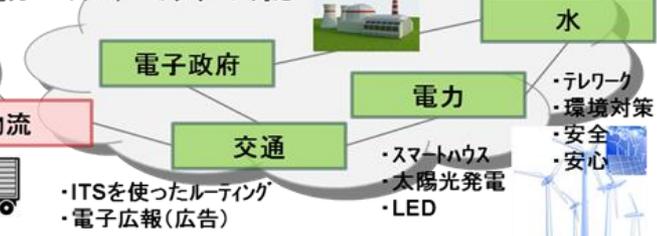
ITの経営活用、組込ソフト、デバイス、センサー等の活用により、既存産業は高次化する。

- 1次産業 → 1.5次産業
- 2次産業 → 2.5次産業
- 3次産業 → 3.5次産業



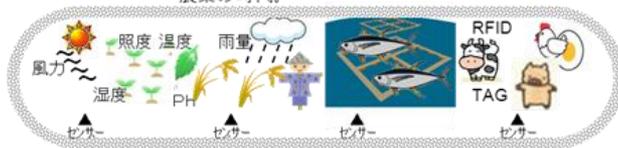
社会システムの高次化 → 課題解決型社会システム

電子行政の推進
ITSによる交通の革新
電力・エネルギーのグリーン対応



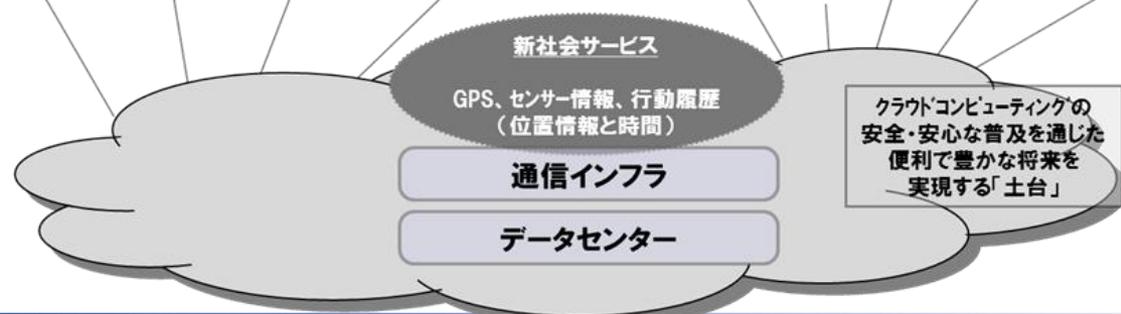
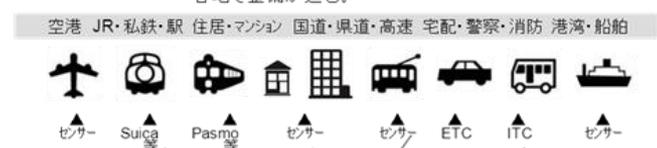
■アグリICT

1次・2次産業を対象として、ITの活用によって日本の農業をもっと元気にする。データに基づいたより科学的な農業の時代。



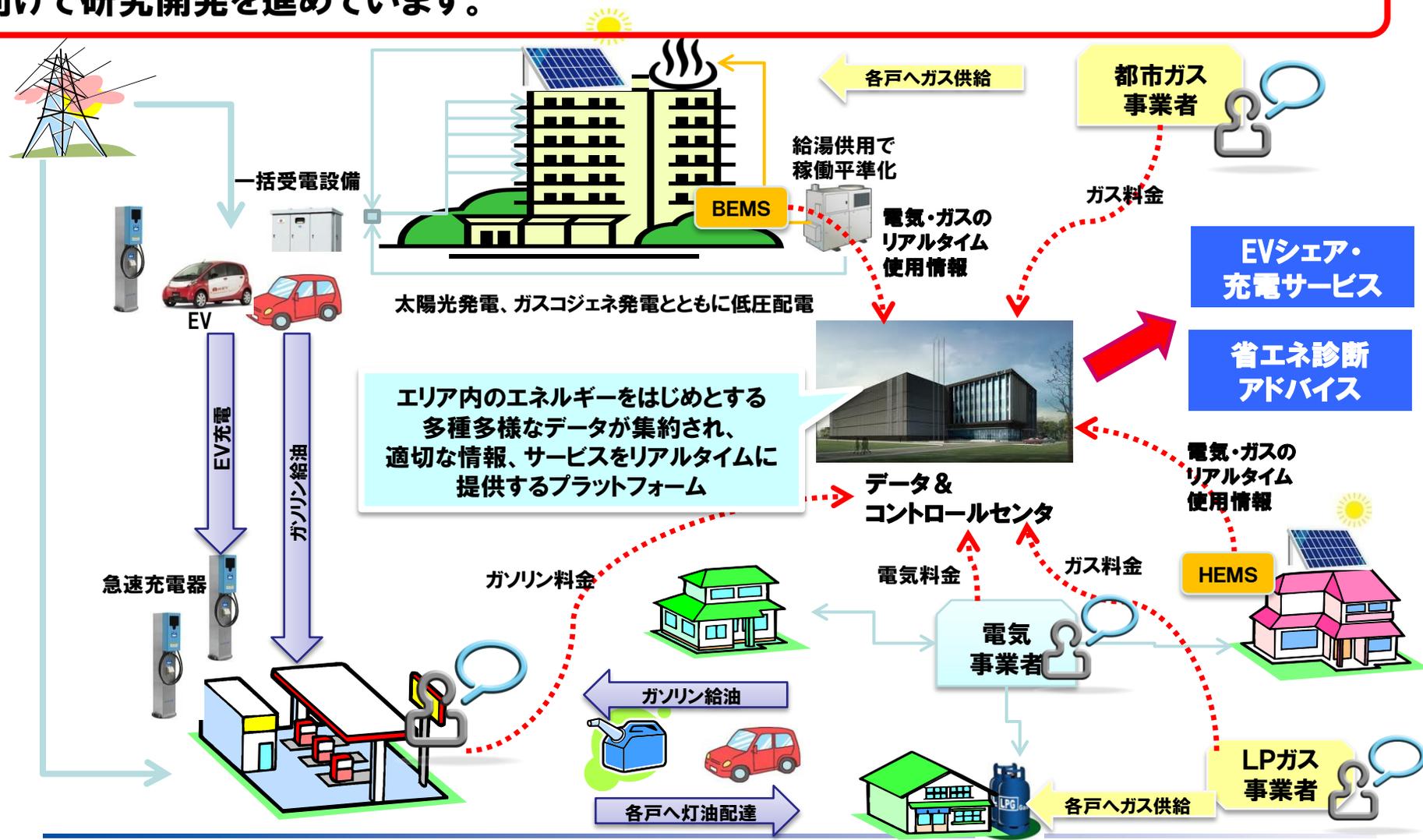
■スマートコミュニティ

ITを利用して家庭や工場、交通網などで使うエネルギー効率を高め、省電力化を徹底する地域社会のこと。世界各地で整備が進む。



スマートコミュニティの実現に向けて

省エネおよび環境志向コミュニティの実現に向けた地域エネルギー情報センタの構築に向けて研究開発を進めています。



戦略的情報通信研究開発推進制度採択テーマ

セントラムの乗車率向上及びまち中の賑わい創出を目指し、3つの技術テーマに取り組んでいます。

①サイネージ実験

時間や場所に応じたタイムリーな広告方法の検証



スマート端末を使ってオンデマンド広告発信

お店の広告
イベント情報

車内でのオンデマンド情報提供



セントラム車内

タイムリー広告の提供

- ・サイネージ表示
- ・AR表示



お客さま

③ナビゲーション実験

運行状況を提供するシステムの操作性の検証

セントラムの現在位置の把握



まちなか

セントラムの位置情報

②AR実験

移動体におけるAR(拡張現実)表示の検証



キャラ探し
ゲーム

